

日中両国間の諸問題について外交的解決を求める意見書

提出者 長浜 信夫



沖縄県をはじめ、県内各自治体は隣国中華人民共和國、台湾との友好都市提携を交わしており、様々な交流を図りつつ活発に双方間の親善と信頼関係を築いてきたところであります。

国境である本市は台湾蘇澳鎮、与那国町は花蓮市とそれぞれ長年にわたって友好交流を続けており、経済や文化芸能、スポーツなど多方面で交流を深め合い良好な国際親善友好交流を行っております。

しかしながら、近年、国内外で台湾有事が叫ばれ不測の事態が大変憂慮されています。現在、政府は安保関連3文書に基づいて抑止力強化を図り、県内では軍備強化、拡大が急速に進められています。先の沖縄戦で沖縄本島は全土が焦土化し、県民の4人に1人が犠牲となる極めて悲惨な体験

をしました。

台湾有事で国境の島に緊張が増し、本市を含め県内の島々が再び戦場になるのではないかと、大変不安と心配で市民に動揺が広がっています。特に、本市は有事が拡大する事態になれば最前線となる恐れがあり、市民の生命、身体、財産に重大な危険が及ぶことを大変、憂慮いたします。

平和を願ひ希求することは、誰しも共有する人類普遍のものであります。政府におきましては近隣国との関係について、今一度、原点に立ち返り平和友好関係を堅持していく冷静な対応が、最も重要だと痛感致します。

つきましては、本市議会は日中両国の諸問題解決に向けた1972年の「日中共同声明」、1978年「日中平和友好条約」を尊重するよう強く求める。

(結果) 賛成多数で可決

○提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、外務大臣

陸上自衛隊石垣駐屯地開設に伴い自衛官やその家族及び駐屯地関係者の人権を尊重する決議

提出者 箕底 用一



我が日本国は太平洋戦争の大戦から大敗し、その教訓の下で専守防衛の観点から防衛省自衛隊によって我が国の国家主権が及ぶ領土・領海・領空の警戒監視活動を関係省庁と連携し24時間体制で常に防衛体制を維持している。

災害時に於いては他国の人道支援を含め、阪神淡路大震災や東日本大震災・熊本震災・豪雨災害等の人命救助や復興支援など様々な任務を果たされてきた。

また、沖縄県知事から要請を受けて八重山圏域の不発弾処理や緊急患者空輸等の活動も行っている。

その他、北朝鮮が衛星と称する弾道ミサイル発射の事前通告があった2012と2016年では、その軌道直下にあった先島諸島の上空を通過することから万が一に備えて、自衛隊によって地对空誘導弾。パトリ

オット(PAC3)を新港地区(南ぬ浜町)に配備し、市民をはじめ人々の生命と財産を守るためその任務に務めて頂いた。

先般、防衛省は2023年3月16日に陸上自衛隊石垣駐屯地を開設し、自衛官570名を配属した。その配属に伴い、自衛官とその家族は石垣市民として生活し、八重山郡民の一員として地域住民と共に支え合いながら暮らしていくことになる。そのため自衛官は任務や活動に際し、迷彩柄の作業服や制服で活動することから公共施設や街中等においても日頃から身近で接する機会が増えてくる。

よって、本市議会は陸上自衛隊石垣駐屯地開設に伴い自衛官やその家族、駐屯地関係者の人権を尊重し、同じ日本国民として共に支え合え、地域・文化・経済活動のより一層の発展を目指すものである。

(結果) 全会一致で可決

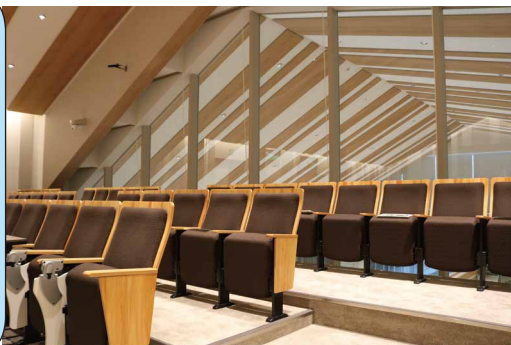
意見書・決議について

○意見書・決議等の詳細は、石垣市議会ホームページにて掲載しています。

- 石垣市ホームページ
- 組織から探す
- 議会事務局
- 意見書・決議



【石垣市議会 意見書・決議】



議会を傍聴しませんか？

本会議の様子は、どなたでも見たり、聞いたりすることが出来ます。本会議の傍聴を希望される方は、市役所3階にある議会事務局にて、住所・氏名・年齢をご記入の上、傍聴券を受け取り入場してください。